ヒマラヤの巨峰に囲まれた「聖域」へ! アノナープリナー トレッキング17日間

10月27日(日)~11月12日(火)



アンナプルナ内院(ABC)の風景

《このコースで見える山》 アンナプルナ [8091m アンナプルナ [7937m バーラシカ(ファング)7647m アンナプルナ [7555m アンナプルナ]√7525m ガンガプルナ7455m アンナプルナサウス 7219m マチャプチャレ 6993m ラムジュンヒマール 6983m シングーチュリ(フルーテッドピーク)6501m ヒウンチュリ 6441m ガンダルバチュリ 6248m ダウラギリ [8,167m マナスル 8,163m ヒマルチュリ 7,540m ほか



山と秘境の旅 株式会社ノマド

観光庁長官登録旅行業第 1668 号/社団法人全国旅行業協会正会員

深い峡谷を遡りベースキャンプへ!!

- ◇ 亜熱帯のポカラをスタートし、雪と氷の世界アンナプルナ・サンクチュアリー(聖域)へ。
- ◇ アンナプルナ山群の懐へ入り込み 360 度巨峰群の展望に囲まれたベースキャンプへ。
- ◇ グルン族が暮らす素朴で個性的な山村を通り、氷河舌端の山上まで変化に富んだ道のり。

ベストシーズンに行くアンナプルナ・ベースキャンプ

- ポカラ(標高 800m)から仰ぎ見るアンナプルナ連峰、その 高度差は実に7,000メートル以上。世界でも類を見ない場所 です。ネパール語で「魚の尾」という意味のマチャプチャレ (6,993m)はポカラのシンボル的存在。そして、あたかも屏風 のように連なるアンナプルナ山群が広がり、その中心にある 「聖域」=「アンナプルナ内院」へのトレッキングが始まります。
- 古くからチベット交易の道で、今でもその名残を見るカリ ガンダキ・ゴラパニ街道を辿り、氷河に源を発する豊かな水流 がモディコーラの深い峡谷を遡ります。トレッキングの道のり は、このモディコーラの谷に沿って、ある時は支流を大きく高 巻き、ある時は河岸の岩礫帯を進みます。
- グルン族の多い個性的な村々が点在し、ヒマラヤの山岳景 観に加え、素朴な村人たちとの触れ合いや、厳しい自然環境の 中で逞しく生きる山の民の生活ぶりを垣間見ることができま す。アンナプルナ自然保護地区に指定された豊かな森林帯で は、桜や石楠花、ラン科の植物なども見られます。
- 谷の源流部は水流が氷河のエンドモレーンの中へと消え行 き、最後には累々と連なるアンナプルナ氷河の真只中へ潜入し ます。そこは視界すべてを覆い尽くす360度の山岳円形劇場 です。ヒマラヤの神々が創造したとも感じられる岩と氷の芸術 を心ゆくまでお楽しみ下さい。
- トレッキングには専属のコックが帯同します。日本人の口 に合うあっさりとした味で、ボリュームの多すぎない料理を提 供するよう心がけています。メニューにはネパール料理のほ か、西洋料理、そして日本食も用意いたします。
- 宿泊は、ネパール語で「バッティー」と呼ばれるロッジを利 用します。予約システムのないロッジはピークシーズンにはし ばしば満員になります。そのため、補助的措置としてテントも 持参し、ロッジの部屋が足りない場合に備えます。
- 皆様の荷物は同行するポーターが運搬し、トレッキングに 必要ないものは街のホテルで保管いたします。
- 最高度宿泊予定地点アンナプルナ BC は標高 4,100m の高所で すので高山病に対する配慮が必要です。弊社では緊急用酸素ボ ンベや血中酸素濃度測定装置を持参し対策を講じます。



ABC より残照のマチャプチャレ



アンナプルナ・ベースキャンプ上部にて



急な石段の道もあります



山麓の道はのどかな雰囲気







月日	都市名	交 通	ス ケ ジ ュ ー ル	食事
10/27 (日)	新千歳 経由都市	航空機	空路、経由都市へ。 〔経由都市/ホテル泊〕 ※利用航空便によっては、機内泊となります。	— — 機
10/28 (月)	経由都市 カトマンズ ポカラ	航空機航空機	空路、カトマンズへ。 午後、入国手続き後、国内便にて、空路、ポカラへ。 〔ポカラ/ホテル泊〕	ー 機 タ
10/29 (火)	ポカラ カーレ デウラリ	専用車 トレッキング 約 4 時間	午前、車でカーレ(1770m)へ。シェルパたちと合流しトレッキング開始。 展望の良いトゥロカルカまで登り、午後、デウラリ(峠 2,100m)へ。 〔シャウレバザール/ロッジ泊〕	朝 昼 夕
10/30 (水)	デウラリ ランドルン ジヌー	トレッキング 約 6 時間	午前、トルカ(1700m)を通り、ランドルン(1560m) へ。 午後、ニューブリッジ(1340m)を経てジヌー(1780m)へ。 〔ジヌーダンダ/ロッジ泊〕	朝 昼 夕
10/31 (木)	ジヌー チョムロン シヌワ	トレッキング 約 5 時間	午前、尾根上の急な石段を登り、チョムロン(1950m)へ。 午後、石段を下り、吊り橋を渡って、シヌワ(2340m)へ登り返します。 〔シヌワ/ロッジ泊〕	朝 昼 夕
11/01 (金)	シヌワ ドバン ヒマラヤ	トレッキング 約 6 時間	午前、ランやシダ類の多い樹林帯に入り、峡谷の側壁をバンブーへ。 午後、さらに樹林帯の中、ドバンを経由し、ヒマラヤ(2920m)へ。 〔ヒマラヤ/ロッジ泊〕	朝 昼 夕
11/02 (±)	ヒマラヤ デウラリ マチャプチャレBC	トレッキング 約 6 時間	午前、深い峡谷の中アップダウンを繰り返し、デウラリ(3150m)へ。 午後、徐々に周囲が開けマチャプチャレ・ベースキャンプ(3700m)へ。 〔マチャプチャレBC/ロッジ泊〕	朝 昼 夕
11/03 (日)	マチャプチャレBC アンナプルナBC	トレッキング 約3時間	南アンナプルナ氷河のサイドモレーンに沿った広い盆地状の谷間を進むと、やがて周囲はすべて高峰群に囲まれます。 いよいよアンナプルナ・ベースキャンプ=内院(4130m)です。 〔アンナプルナBC/ロッジ泊〕	
11/04 (月)	アンナプルナBC マチャプチャレBC	トレッキング 約3時間	午前、アンナプルナBCから、ヒウンチュリ方面への散策など。 午後、マチャプチャレBC(3700m)へ下ります。 〔マチャプチャレBC/ロッジ泊〕	
11/05 (火)	マチャプチャレBC ドバン バンブー	トレッキング 約 7 時間	往路をドバン(2500m)経由、バンブー(2335m)へ。 〔バンブー/ロッジ泊〕〕	朝 昼 夕
11/06 (水)	バンブー チョムロン ジヌー	トレッキング 約 6 時間	往路をチョムロン(1950m)経由、温泉のある村ジヌー(1780m)へ。 アップダウンの多い一日です。 〔ジヌー/ロッジ泊〕〕	朝 昼 夕
11/07 (木)	ジヌー ニューブリッジ シャウレバザール	トレッキング 約 5 時間	往路をニューブリッジ(1340m)へ下ります。モディコーラ(川)沿いの道 をシャウレバザール(1170m)へ。 〔ランドルン/ロッジ泊〕〕	朝 昼 夕
11/08 (金)	シャウレバザール ナヤプル ポカラ	トレッキング 約 6 時間	午前、ナヤプル(1000m)車でポカラへ。 〔ポカラ/ホテル泊〕	朝 昼 夕
11/09 (±)	ポカラ (トレッキング予備日)		ペワ湖畔ののどかなポカラで山の疲れを癒しましょう。 トレッキング予備日を兼ねています。 〔ポカラ/ホテル泊〕	朝 昼 夕
11/10 (目)	ポカラ カトマンズ	航空機	午前、国内便にて、空路、カトマンズへ。 午後、カトマンズにて自由行動。 〔カトマンズ/ホテル泊〕	朝 昼 夕
11/11 (月)	カトマンズ インチョン	航空機	午前、カトマンズにて自由行動。 午後、思い出のネパールを後に、ソウル・インチョン空港へ。 〔インチョン/ホテル泊〕	朝 — 機
11/12 (火)	インチョン 新千歳	航空機	午前、空路、新千歳空港へ。	機 — —

- 上記所要時間は、休憩を除く実質歩行時間の目安です。当日の状況により変わりますので、あらかじめご了 承願います。
- トレッキングの宿泊は、原則としてロッジを利用しますが、上部へ行くほどロッジ数・ベッド数が限られてきます。このため混雑状況により男女別の相部屋などになる場合があります。また、補助的にテントを使用する場合があります。あらかじめご了承願います。
- トレッキングの行程は原則として上記を予定しておりますが、現地事情により変更する場合があります。

■旅行代金:新千歳発着 415,000 円 ※新千歳以外の発着についてはお問い合せ下さい。

■一人部屋追加代金:25,000 円(トレッキング中除く)

■最少催行人員:6名(最大募集人員12名)

■添乗員(ツアーリーダー):新千歳空港より同行します。

■食事:朝 14 回・昼 13 回・夕 14 回 (機内食を除く)

■利用予定航空会社:コリアンエアー、タイ航空、その他

■利用予定ホテル:カトマンズ/マルシャンディー、タメル、マナン

ポカラ/メーラ、トレッコテル、スノーランド (または同等クラス)

■入国査証(ビザ): ネパールビザとトレッキング許可証の取得が必要です。弊社にて一括代行致します。

代行手数料としてお一人様 7,000 円申し受けます。

パスポート(残存有効期間 6 ヶ月以上)、 証明写真 2 枚(3.5x4.5cm)をご用意下さい。

■空港諸税、燃油サーチャージは別途実費を申し受けます(目安:約 35,000 円~45,000 円/2013 年 9 月現在)。

- トレッキング許可証:アンナプルナ保護地区入域料、および TIMS 登録料は旅行代金に含まれています。
- 海外旅行保険への契約をお願いいたします。弊社では、AIU 保険会社を取り扱っています。
- トレッキキングは原則として天候に関わらず実施致しますが、極端な悪天候の場合、ツアーリーダーと現地ガイドの 判断で行程を変更する場合がありますので、あらかじめご了承願います。

〔お願い〕 トレッキング中、皆様の荷物はポーターが運搬します。

スーツケースや極端に大きな荷物は運搬できませんので、別途、適正な大きさのバッグや丈夫な袋などをご用意下 さい。お客様には、ご自身の身の回り品(雨具、防寒具、水筒、セーター等日帰り登山程度の装備)をご自身で背 負っていただきます。また、トレッキングに不要なスーツケース等はホテル等にて保管いたします。

ご参加の皆様へ<旅行条件抜粋>

お申し込みの際には、必ず旅行条件書をお受け取りください。旅行条件は、パンフレットの内容、条件によるほか、別途お渡しするご旅行条件書、最終日程表並びに当社募集型企画旅行約款によります。

この旅行は、株式会社・マド(以下「当社」という)が企画募集し実施する企画旅行です。旅行に参加されるお客様は当社と企画旅行契約(以下「旅行契約」という)を締結することになります。

■旅行のお申し込み及び契約成立時期

旅行契約は当社らが契約の締結を承諾し申込金または旅行代金(お支払い対象旅行代金)を受理した時に成立します。(通 信契約の場合を除きます。)

■お申込金(お一人様)

●旅行代金が10万円以上15万円未満・・・・・・・・20,000円以上旅行代金まで

■取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、下記の金額を取消料として申し受けます。(お一人様)

が ロスキがる主 区 (00 日 は の 間 日 で スキュと)	THICH DECIDE I HOS TENER WANT	100010000000000000000000000000000000000	
旅行契約の解除期日	4/27~5/6、7/20~8/31、 12/20~1/7 に開始する旅行	左記以外の日に開始する旅行	
旅行開始日の前日から起算してさかの ぼって40日目にあたる日以降~31日 目にあたる日まで	旅行代金の10% (10万円を上限)	無料	
旅行開始日の前日から起算してさかの ぼって30日目にあたる日以降~15日 目にあたる日まで	旅行代金が50万円以上 10万円 旅行代金が30万円以上50万円未満 5万円 旅行代金が10万円以上50万円未満 3万円 旅行代金が15万円以上30万円未満 2万円 旅行代金が10万円以上15万円未満 旅行代金の20%		
旅行開始日の前日から起算してさかの ぽって14日目にあたる日以降~3日目 にあたる日まで	旅行代金の20%		
旅行開始日の前々日~旅行開始日まで	旅行代金の50%		
旅行開始後または無連絡不参加の場合	旅行代金の100%	•	

■旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日から起算してさかのぼって21日目にあたる日より前に(お申し込み間際の場合は当社らが指定する期日までに)お支払いください。

■旅行代金に含まれるもの

旅行日程に明示した★運送機関の運賃·料金(この運賃·料金には、運送機関の課す付加運賃·料金(原価の水準の異常な 旅刊日往に切から、一定の期間および一定の条件下に限りあらゆる旅行者に一様に設されるものに限ります。以下同様と とます。)を含みません。★宿泊費★食事代旅行取扱料金および消費税等諸税、サービス料★お一人様につきスーツケース 等1個の受託手荷物運送代金。上記費用はお客様のご都合により、一部利用されなくても払い戻しはいたしません。

■旅行代金に含まれないもの

RTJ1に単に自る4102を1007 前項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。★超過手荷物料金★運送機関の課す付加運賃・料金 ★クリーニング代、電報電話料、追加飲食代、ホテルのボーイ・メイド等に対する心付その他個人的性質の諸費用とそれに伴 う税・サービス料★注釈のない限り日本国内の空港使用料★旅行日程中の空港税、空港使用料等

■特別補償

当社は、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激且つ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った - 定の損害について、予め当社約款特別補償規程に定める金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。

■旅行条件(抜粋)基準日

この旅行条件は、2013 年 9 月 1 日を基準としています。又、この旅行代金は、2013 年 9 月 1 日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、又は 2013 年 9 月 1 日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

■個人情報の取り扱いについて

当社は、旅行申込みの際に提出された申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただく ほか、お客様がお申込みいただいた旅行において旅行サービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続に必要な 範囲内で利用させていただきます。その他、当社らは、[1]当社ら及び当社らの提携する企業の商品やサービス、キャンペーンのご案内[2]旅行参加後のご意見やご感想の提供のお願い[3]アンケートのお願い[4]特典サービスの提供[5]統計資料の作成、にお客様の個人情報を利用させていただくことがあります。これらの事業者への個人データの提供の停止を希望される 場合は出発前までにお申し出下さい。

■その他

旅行代金は特に記載のない限りお一人様分を表示しています。また、こども代金は旅行開始日当日を基準に満 2 歳以上~ 12 歳未満の方に適用します。また、旅行の中途離団等、お客様の都合で旅行日程を変更する場合は、別途追加手数料等を お支払いいただいた上で可能な限りご希望に沿うよう努力しますが、運送機関等の状況により不可能な場合があります。ま た、「離団証明書」等の証明書類に署名、捺印等をいただく場合があります。

⑥高外危険情報」は「海外安全ホームペーン(http://www.anzen.mofa.go.jp)」または、外務省海外安全情報センター (TEL:03-5501-8162/受付時間:外務省閉庁時を除く09:00~17:00)などでご確認いただけます 渡航先の衛生状況は「厚生労働省検疫感染症ホ ームページ<u>http://www.forth.go.jp</u>」でご確認いただけます。

■旅行企画·実施



〒060-0062 札幌市中央区南 2 条西 6 丁目 8 番地一閤ビル 2 階 観光庁長官登録旅行業第 1668 号

総合旅行業務取扱管理者 早坂悟 tour@hokkaido-nomad.co.jp

■お申し込み・お問い合せ

TEL 011-261-2039

FAX 011(261)1998